

環境調査結果のお知らせ

令和3年4月20日午前9時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

水温は15.7～19.7℃で、前回調査時(R3.3.17)と比較して表層で1.1℃低下し、1mから底層で1.4～2.5℃上昇しました。

塩分は12.0～31.8で、前回調査時と比較して表層から1m層で3.3～12.1低下し、底層では同じ値でした。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は7.7～9.1 mg/Lで、前回調査時と比較して表層から1m層で5.4～6.1 mg/L低下し、底層で0.2mg/L増加しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.5mでした。

検鏡の結果、有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で180 cells/mL確認されました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深 (m)	今回調査	前回調査(R3.3.17)	
			差(今回-前回)
0m	15.7	16.8	▲ 1.1
1m	18.4	17.0	1.4
B-1	19.7	17.2	2.5

表2 塩分

測定水深 (m)	今回調査	前回調査(R3.3.17)	
			差(今回-前回)
0m	12.0	24.1	▲ 12.1
1m	24.0	27.3	▲ 3.3
B-1	31.8	31.8	0.0

表3 溶存酸素量(mg/L)

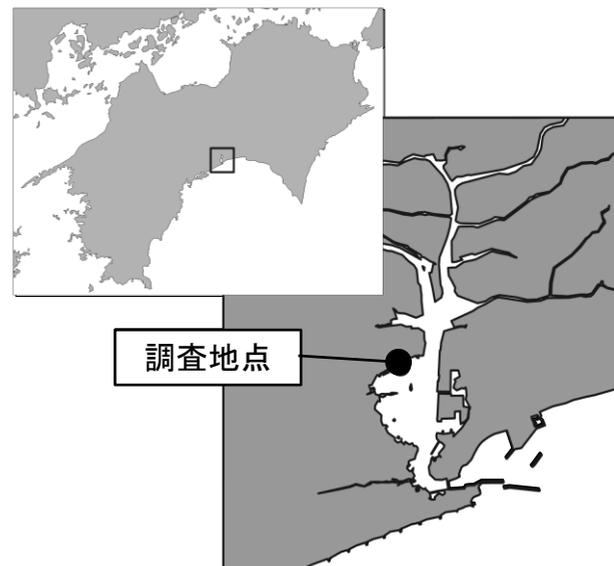
測定水深 (m)	今回調査	前回調査(R3.3.17)	
			差(今回-前回)
0m	9.1	15.2	▲ 6.1
1m	7.7	13.1	▲ 5.4
B-1	8.0	7.8	0.2

表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.0	3.5
透明度	2.5	1.5

表5 プランクトン(cells/mL)

測定 水深(m)	ヘテロシグマ・ アカシオ	珪藻類
0	60	260
1	130	120
B-1	180	80



漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000～50,000cells/mL(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>